

SILKYPIX Developer Studio Pro6 を使用した

# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 1. SILKYPIX Developer Studio Pro6 をお使いでない方。



30 日間全ての機能が試用できる試用版をダウンロードしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/download/>

インストール後、SILKYPIX Developer Studio Pro6 を起動し、表示されるウィンドウの中から「試用開始」ボタンを押すと 30 日間試用することができます。

## 2. サンプル RAW データのダウンロード

以下のページから本章で使用する RAW データをダウンロードしてください。

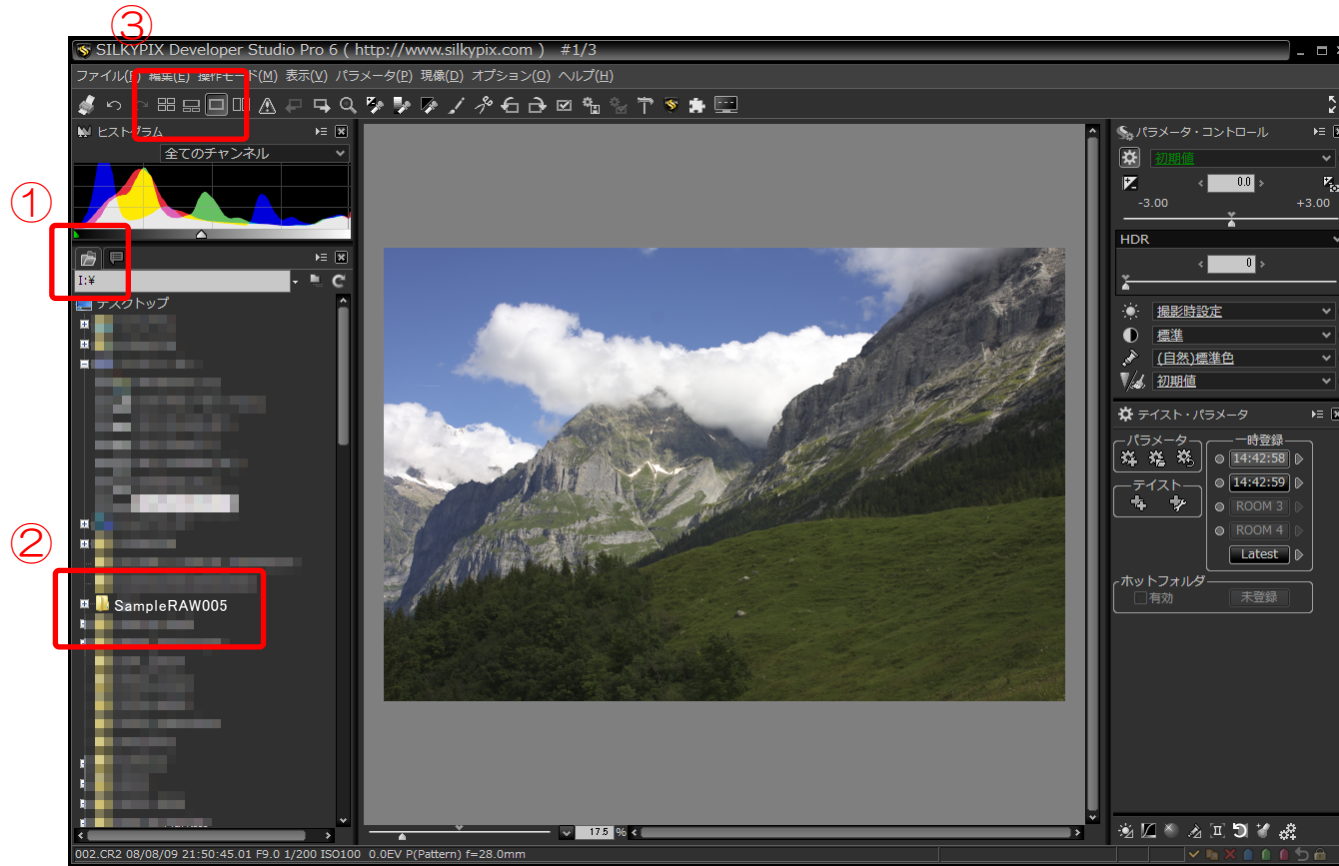
<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/download/raw/>

ダウンロードした RAW データは圧縮されていますので「デスクトップ」など任意の場所に解凍してください。

# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 3. RAW データを開く

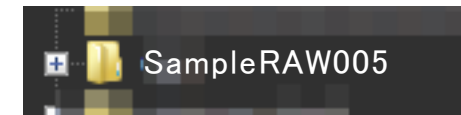


### ●フォルダーを開く

SILKYPiX はフォルダー単位で RAW データを開くことができます。



①フォルダーツリーアイコンをクリックしフォルダー一覧を表示します。



②フォルダーツリーからダウンロードした RAW データの入ったフォルダーを選択すると開きます。

### ③表示モードを切り替える

#### サムネイル表示



フォルダーの中のデータを縮小版で一覧表示します。

#### コンビネーション表示



縮小表示と拡大表示を同時に表示します。

#### プレビュー表示



サムネイル表示で選択されたコマを大きく表示します。

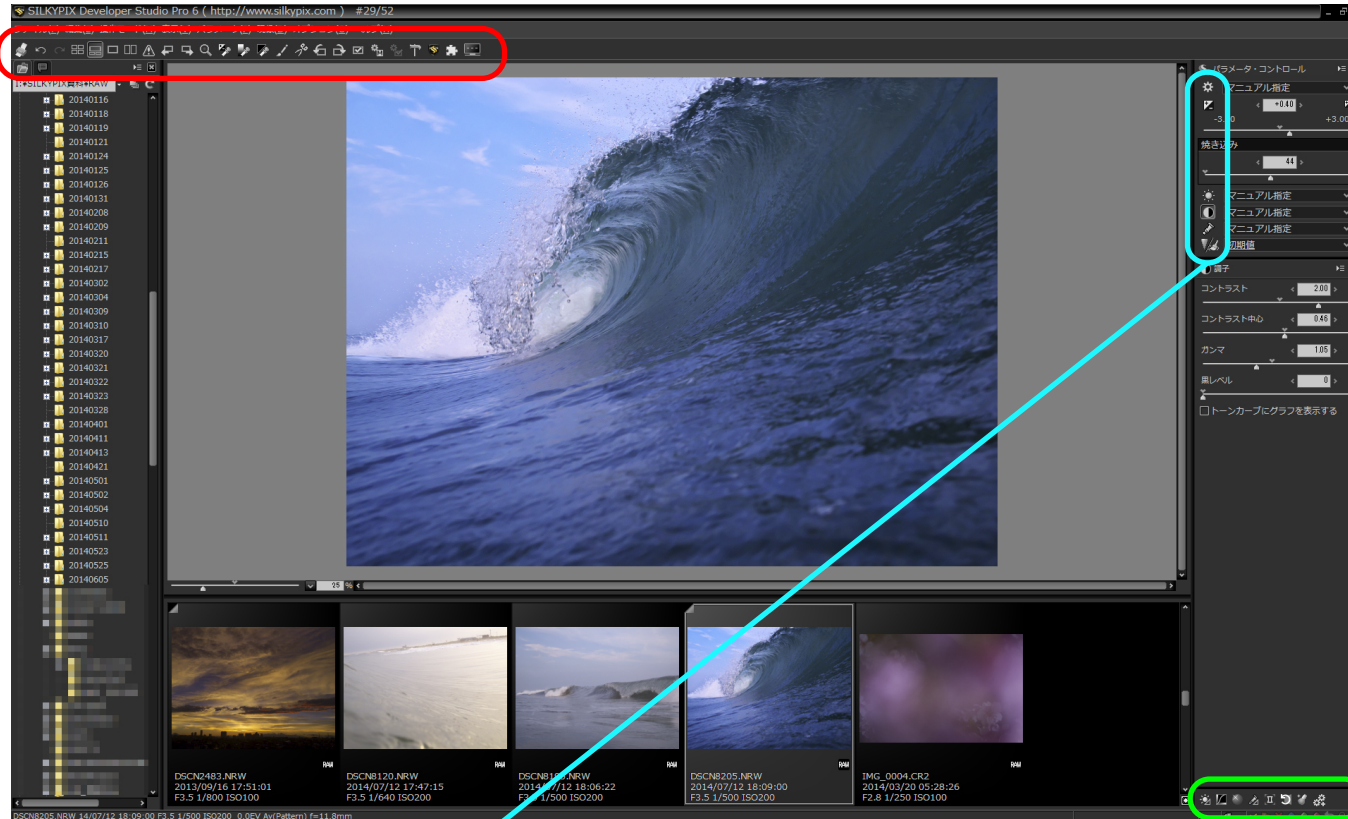


SILKYPIX Developer Studio Pro6 を使用した

# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 4. 画面構成



### ツールバーでよく使う機能

- 印刷
- 画面表示切替
- ハイライト、シャドー警告など
- ゴミ取り
- トリミング
- 90 度回転
- JPEG または TIFF に変換

### メインコントロール

- 露出  
明るさの調整
- ホワイトバランス  
全体的な色合いの調整
- 調子  
コントラストの調整
- カラー  
鮮やかさの調整
- シャープ／NR  
シャープネスと  
ノイズリダクション

### サブコントロール

- WB 微調整  
色合いの微調整
- トーンカーブ  
コントラストの調整
- ハイライトコントローラ  
白とびした部分の調整
- ファインカラーコントローラ  
特定の色ごとの調整
- レンズ収差補正  
歪みや周辺減光の補正
- 回転／デジタルシフト  
傾きや遠近感の補正
- 効果  
美肌補正とノイズ付加
- 現像設定  
AdobeRGB や sRGB の設定

# RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 5. メインコントロール

①

②

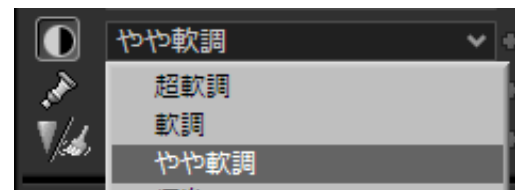
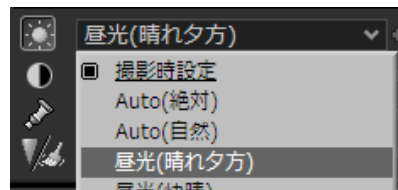


### ①カテゴリ選択アイコン

アイコンを選択すると③のタブページが切り替わります。

### ②テスト

あらかじめ登録されている設定をメニューから選んで調整を行います。おおまかな調整をここでやり③のスライダーで微調整できます。



### ③タブページ

①で選択したカテゴリの詳細な調整を行います。主に「スライダー」と呼ばれるコントロールでつまみを左右に動かして調整を行います。

### ●スライダーの初期値マーク



データを開いた時の値を示すマークとなります。最初の状態がわからなくなった時の目印になります。



# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 6. 調整前

データを開いたままの状態です。まずここで調整の目標を決めます。



### ①写真全体の色の濁りやくすみ

写真全体の色が濁っていて鮮やかさが足りない。

### ②ボケの雰囲気弱い

背景のボケを柔らかく表現したい。

曇りの日に撮影した花の写真です。曇っているおかげで、ハイライトが柔らかく表現できていますが、コントラスト感も無く色も濁っています。そのため、背景のボケも弱く感じられます。

## RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

### 7. 露出（明るさ）の調節

#### 明るく調整



#### 露出補正 : +0.8EV ( 明るく補正 )



花が明るくなるように調整。しっとりとした質感を残すために、白い部分の階調は少し残し気味になるように露出を設定。白とびギリギリまで明るくすると少し硬い表現なる場合があります。



#### 白い被写体の露出

被写体の「白」は同じ明るさでも、写真全体の絵柄の雰囲気や色のバランスで相対的に違って見えます。「白」をどの明るさで見せたいのか（明るめが良いのか暗めが良いのか）、画面を見ながら露出を設定すると良いでしょう。



## RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

### 8. ホワイトバランス

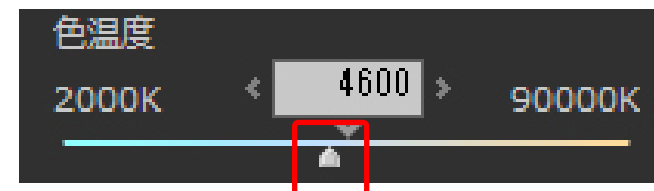
花の青を強調し、全体をまとまりのある色調感へ。



色温度（撮影時設定）5200K



色温度 4600K へ調整



花の青を強調するためにホワイトバランスの「色温度」を青い方向へ調整。



#### 写真全体の色味を考える

写真全体を引きで見た時の第一印象はとても重要です。今回の写真では花の青と共に、背景の緑から茶色味を抜き、写真全体を寒色系でまとめて色調に統一感を出すためにもホワイトバランスを使用しています。写真から感じる第一印象が青っぽい写真になるようにしました。

# RAW 現像基本調整（補正編）

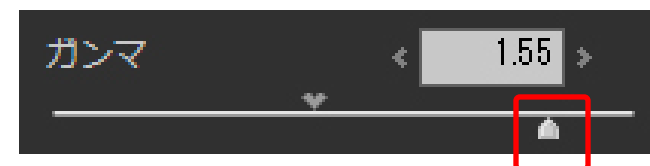
サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 9. 調子～ガンマ～

中間調の明るさを明るくし、柔らかいボケを表現



### 調子～ガンマ 1.55



ガンマを高く設定しハイキー気味にする事でボケの柔らかさを調節。



### ガンマは中間の明るさ調整

ガンマを高く設定すると「ハイキー（明るめな調子で構成された写真）」、低く設定すると「ローキー（暗めな調子で構成された写真）」になります。この例では背景のボケに注目してボケ足が柔らかいグラデーションになるように調整しています。



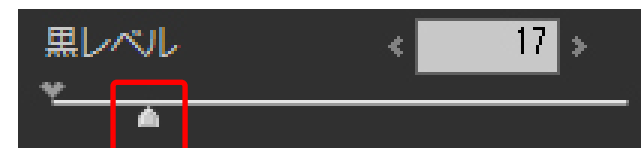
## RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

### 10. 調子～黒レベル～

シャドーを締めコントラスト感を出す



#### 調子～黒レベル 17



ガンマで浮いた暗部を黒レベルで締めて調整。この例ではあくまで柔らかい雰囲気損なわない程度に。



#### 黒レベルはシャドーの調整

黒レベルを高く設定すると暗部が締まって（より暗く）なってきます。そのため、この場合、明るい花の白が引き立って見える効果があります。ガンマで設定した柔らかい背景のボケが不自然にならない程度に留めて設定しています。

# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

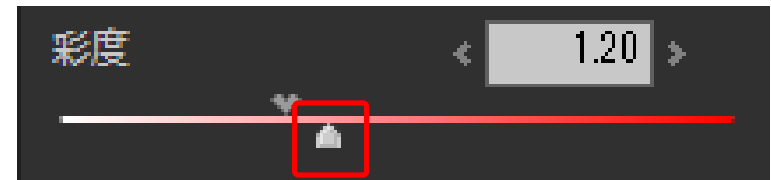
## 11. カラー（彩度）

最後の仕上げに鮮やかさを調節する。



### 彩度（鮮やかさ） +1.20

彩度を高く調整すると色が鮮やかになります。



ガンマを高く設定した事で写真全体の色の濃さが薄くなったので「彩度」を少し上げて鮮やかに仕上げます。



### ナチュラルに仕上げるのなら彩度の上げすぎには注意

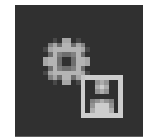
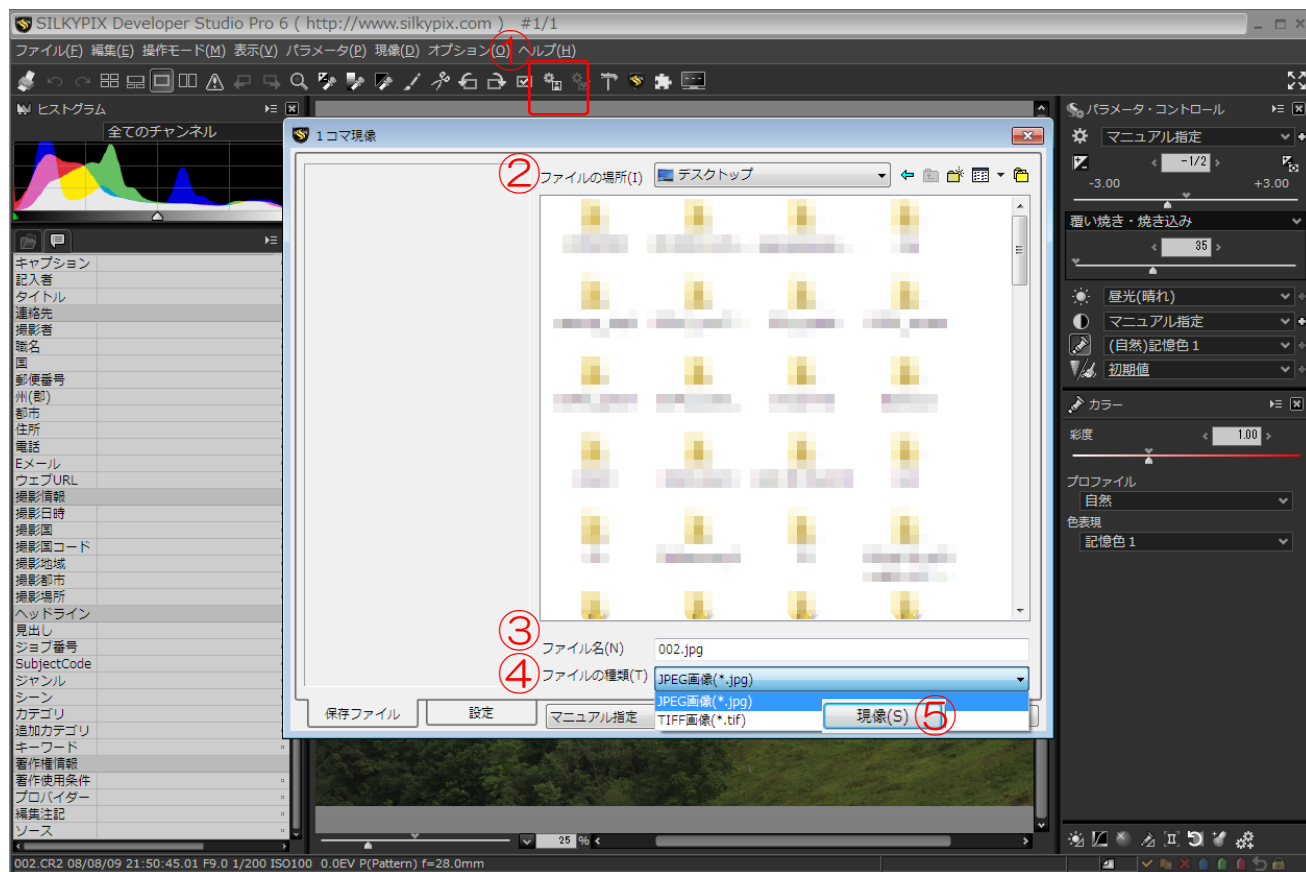
淡い花のグラデーションが不自然にならないように注意しながら彩度を設定すると良いでしょう。

# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 12. 現像する

### JPEG や TIFF に書き出す



① 1 コマ現像ボタンを押すと保存のダイアログが表示されます。

② ファイルの保存場所を選択します。

③ ファイル名を変更する場合は入力します。

④ ファイル形式で JPEG か TIFF を選択します。

⑤ 現像ボタンを押すと RAW データから JPEG または TIFF の変換が始まります。



### 現像とは？

SILKYPIX では RAW データから JPEG や TIFF に変換する事を「現像」と呼んでいます。TIFF は 8bit または 16bit が選択できます。



SILKYPIX Developer Studio Pro6 を使用した

**RAW 現像基本調整（補正編）** サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

### 13. 調整前／調整後

色調にまとまりがあり、柔らかい雰囲気の写真に仕上がりました。

